

一般公開

Suzuki Method
(スズキ・メソッド)

第**70**回夏期学校記念

特別講師による コンサート

2021年7月31日【土】

まつもと市民芸術館主ホール

ライブコンサート

開演 17:00(開場 16:30)

オンライン配信

配信時間 19:00

Program

● シャコンヌ / ヴィターリ

ヴァイオリン: 竹澤恭子 ピアノ: 東 誠三

● ピアノ・ソナタ 第17番 二短調 Op.31-2「テンペスト」より
第1、3楽章 / ベートーヴェン

ピアノ: 東 誠三

● フルート協奏曲 Op.30 第2、3楽章 / 尾高尚忠

フルート: 宮前丈明 ピアノ: 東 誠三

● 無伴奏チェロ組曲 第3番 ハ長調 BWV 1009より
プレリュード、サラバンド、ブーレ I・II / J.S.バッハ

チェロ: 山本裕康

● ピアノ三重奏曲 第4番 変ロ長調 Op.11「街の歌」 / ベートーヴェン

ピアノ: 東 誠三 ヴァイオリン: 竹澤恭子 チェロ: 山本裕康

♪ ブーレ / ヘンデル ♪ ガヴォット / ゴセック
♪ 愛の悲しみ / クライスラー ♪ 美しきロスマリン / クライスラー

ヴァイオリン: 江口有香 ピアノ: Kemp English

※ライブコンサートとオンライン配信でのプログラムは一部異なります
♪はオンライン配信のみ。

Profile

竹澤恭子(ヴァイオリン)



3歳よりスズキ・メソッドでヴァイオリンを始め山村晶一、小林健次両氏に師事。桐朋子高校音楽科在学中に第51回日本音楽コンクール第1位、併せてレウカディア賞、黒柳賞を受賞。ジュリアード音楽院でドロシー・ディレイ、川崎雅夫両氏に師事し、1986年インディアナポリス国際ヴァイオリンコンクールで圧倒的な優勝を飾る。これまで、ロイヤル・コンサートヘボウ管、ロンドン響、ニューヨーク・フィル、ボストン響、シカゴ響など、世界の主要オーケストラと共演。指揮者ではヘルベルト・ブロムシュテット、ズービン・メータ、小澤征爾など、室内楽では、アイザック・スターン、ヨーヨー・マ、東京クワルテットらと共演。ルツェルンなどの世界各地の音楽祭やロン・ティボーなどの国際コンクール審査員にも定期的に招かれるなど、幅広い活動を続けている。

現在、桐朋学園大学特任教授、洗足学園音楽大学客員教授。2020年4月に東京音楽大学教授に就任。2018年よりスズキ・メソッド特別講師。

東 誠三(ピアノ)



幼少より、スズキ・メソッド片岡ハルコ氏の下でピアノの基礎教育を受けた後、東京音楽大学付属高校から東京音楽大学へ。1983年日本音楽コンクール優勝後、フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に留学し、J. ルヴィエ、J.C. ペヌティエ氏らに師事。ポッツォーリ、モンリオール、カサドシュなど、数々の国際コンクールに入賞。主要オーケストラへの客演、リサイタル活動の他、室内楽にも強い意欲を示し、東京フィル・コンサートマスター三浦章広(Vn)、N響首席チェリスト藤森亮一(Vc)と結成した「ボアヴェール・トリオ」での活動を始め、多くのトップ・ソリストたちと共演。

現在、東京藝術大学教授、東京音楽大学客員教授、日本音楽コンクール他、国内外の主要コンクールでの審査員を務めている。日本ショパン協会理事。2007年より国際スズキ・メソッド音楽院教授、2018年よりスズキ・メソッド特別講師及び特別講師会長。

Profile

宮前文明(フルート)



9歳よりスズキ・メソードでフルートを始め、高橋利夫氏に師事。1977年、巨匠マルセル・モイーズ氏の来日時のマスタークラスを最年少11歳で受講し、以降モイーズ氏にも師事。その後、医師免許・医学博士を取得、脳科学研究に10年間携わった後、フルート奏者として本格的な活動を再開。英国トリニティ・カレッジ・ロンドン演奏家ディプロマ取得。レオポルド・ベラン国際音楽コンクール第1位をはじめ、欧米の国際音楽コンクールにて受賞多数。日本、米国、欧州での活発な演奏活動の傍ら、医学的見地も取り入れた生理学的に合理的で無理のないアプローチをモットーとした奏法体系を構築し、音楽学校や大学でマスタークラスを行なうなど指導活動を展開している。

現在、Levine Music フルード科講師(ワシントンD.C.)、米ピッツバーグ大学医療センター精神科研究員、総説「音楽経験と脳」(Brain and Nerve 2018年6月号 医学書院)。2016年より国際スズキ・メソード音楽院教授、2018年よりスズキ・メソード特別講師。

山本裕康(チェロ)

10歳の頃よりスズキ・メソード中島顕氏の元でチェロを始める。桐朋学園大学卒。同大学にて井上頼豊、秋津智承、山崎伸子、ピュイグ・ロジェ氏に師事。在学中、1987年第56回日本音楽コンクール第1位、第1回日本室内楽コンクール第1位など数々の受賞歴を持つ。キジアーナ音楽院などでR.ブレンゴラー氏の元で室内楽、2重奏ソナタの研鑽を積む。1990年東京都交響楽団首席奏者に就任。1994年広島交響楽団客演ソロ奏者、神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席奏者を歴任。サイトウ・キネン・オーケストラ、宮崎国際音楽祭に毎年参加。



現在、京都市交響楽団特別首席奏者、セントラル愛知交響楽団首席奏者、東京音楽大学専任講師。2020年4月よりスズキ・メソード特別講師に就任。

江口有香(ヴァイオリン)



3歳よりスズキ・メソードでヴァイオリンを始める。桐朋女子高等学校音楽科に在学中、第55回日本音楽コンクール第1位。インディアナ州立大学音楽学部在学中にワシントン国際コンクール第4位。同大学卒業後1993年パガニーニ国際ヴァイオリンコンクール第3位。帰国後はソロ活動、アンサンブル活動や後進の指導で幅広く活躍し、トウキョウ・モーツァルト・プレーヤーズ・コンサートマスター(2006年～2011年)、日本フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター(2007年～2014年)を歴任。2015年よりニュージーランド交響楽団アシスタントコンサートマスターを務める他、国内のオーケストラのゲストコンサートマスターを務める。これまでに8枚のCDをリリース。ヴァイオリンを蔵持典与、安田広務、故・鈴木鎮一、故・小林健次、故・J.Gingold、故・F.Gullis、Yuval Yaron、室内楽を故・J.Starker、故・G.Sebok各氏に師事。2018年よりスズキ・メソード特別講師。ニュージーランド在住。